

あ・うん

金剛禪総本山少林寺広報誌

vol.
87

2023 弥生・卯月



特集／認証式

—— 新任道院長のスタートと受け継がれる思い

特集

認証式

——新任道院長のスタートと受け継がれる思い

2023年1月14日、本堂において認証式が行われ、新たに55名が道院長の任命を受けた。その内訳は、道院設立2名、道院長交代27名、参与道院長26名、ここ10年間では最も多い認証となった。道院長となるには、道院長資格認定研修会の審査に合格することが必要であり、その後、道院運営を開始し、約1年間の運営期間の後、各種の審査を経て正式に道院長として認証される。今回、認証式に出席した道院長に密着した。



認証式前の研修

認証式に先立ち、道院運営開始から今日までの運営のフォローアップとして研修が行われました。研修の前半は先輩道院長の訓話。道院長勤続10年の藤野起夫 阿波市場道院長、勤続20年の浅井昌典 浜松渡瀬道院長が、これまでの経験や印象深いエピソードを交え、運営の工夫、現在取り組んでいること、



浜松渡瀬道院(静岡)
浅井昌典 道院長

「道院長をやって良かった」「人生が変わった」と自信を持って話す先輩道院長の姿に刺激を受け、熱心にメモを取りながらも、受講者達は自身の10年後、20年後のイメージを重ね合わせているようでした。研修の後半は、グループ討議。前半の先輩道院長の訓話を受け、10年後の自身の道院の理想像を描



阿波市場道院(徳島)
藤野起夫 道院長

道院長としてのやりがいについて、後輩道院長達に熱い思いを語りました。



研修中のグループ討議の様子

きます。さらにその理想が自分にとってどのような意味を持つのかを掘り下げることで、道院長として歩む意志が強固なものへと変わっていきます。互いに意見を交わしながら、まずはこの1年の目標を、受講者一人一人が明確にしていきました。

認証式の誓願

研修終了後、法衣を身にまとい、厳かな雰囲気の中で認証式が始まりました。新任道院長達の緊張感が伝わってくる中、大澤隆管長が認証式の願文を奉読する声が本堂に響きます。そして代表者が壇上に立ち、息を合わせて4つの誓約を心に刻み付けながら誓願文を読み上げました。

誓願文を読む代表者



東京清瀬元町道院(東京)
島澤良次 道院長(道院長交代)

その後、大澤管長より「よろしくお願いします」という言葉とともに、一人一人に道院長の辞令が手渡されました。大澤管長の挨拶では、「認証式を原点として、本日誓ったことを忘れることなく、金剛禅運動を通じて得た様々な経験を後進に伝え、道院を発展させ、勤続10年の舞台に必ずや立っていただきたい」と激励があり、道院長としての決意を新たにしました。

今回、新たに任命された3名の道院長にインタビューを行いました。その一部を紹介いたします。



坂出久米道院(香川)
浅山泰幸 道院長(設立)

【浅山道院長】

―道院長になったきっかけを教えてください。

私は現職の自衛官であり、普通寺自衛隊の支部長でもあります。自衛隊支部だけでは、自衛官を辞めたら同時に少林寺拳法を離れてしまう方が多く、活動に限界を感じていました。道院であれば、その受け皿もできるし、自身が定年したあととも続けられます。そして、何より金剛禅の教えをしっかりと説くことができます。そこで、時間的な制約もなく、いつでも修練できる環境を整えるため専有道場も構えました。たとえば大きくなくとも集まる場所があるということが大事です。

―道院長として大事にしていることは何ですか。

一人一人の門信徒と面授面受で修行することです。そして相手に教えるだけでなく、私も一緒に修行するという姿勢を大事にしています。私は門信徒一人一人を大事に育てていきたいと考えています。たとえば人数が少なくても、道院には常に私がいるので、一人でも来れば組手主体の修練が成立します。また、教えや技法は手から手へと伝わるものです。いくら動画を見て真似をしても、修得できるものではありません。何度も繰り返して、また教わって、研究して修練を積み重ねていくうちに自分のものとなります。そのことを私は、故加藤義秋先生(元綾南道院長)に学びました。

―どのような道院にしたいですか。

「今日は修練日だから行こう」と皆が行きたいと思える道院にしたいと考えています。まだ門信徒には、地元の人間がいらないため、地元で入門する人を増やし、将来の道院長、指導者を一人でも多く育てていきたいです。



京都鴨川道院(京都)
安道 亮 道院長(道院長交代)

【安道道院長】

―道院長になったきっかけを教えてください。

林清嗣前道院長より、声がかかりました。私以外に年齢も経験もある方が4人いたのですが、ある時唐突に「あのね、道院を引き継ごうと思う」と切り出され、「このタイミングで言う。何言うてはるんですか。他にいるのでは。」と最初はたくさんクエスチョンマークが浮かびました。道院の継続を考えたときに、あえて当時一番若かった私を選んだのだと思います。私は大学の監督もしており、人の上に立つことで自分も成長できるということを経験していたので引き継ぐことを決意しました。

―道院長になってから印象的なエピソードはありますか。

ある日の修練の終わりに、前道院長である林先生から「あの

ね、道院長」と呼ばれた時、一瞬思考が停止しました。38年間私にとって道院長だった人から言われたので、自分の父親から「お父さん」と呼ばれるぐらいの衝撃でした。父親という言い方をしましたが、林先生は、門信徒を本当の家族と思っていました。私がコロナに罹患した時も真っ先に差し入れを持って駆けつけて来られました。普通、道院長と門信徒は一对多の関係ですが、林先生は何でこんなことまで目配りできるんだろうというぐらい、全員のことをしっかりと見ており、常に一対一で接していると感じました。私はまだその域には達していませんが、普段の言葉遣いと態度はとても大事で、門信徒の皆さんを大切に思っていることをきちんと伝えるようにしています。

—どのような道院にしたいですか。知り合いの中には、仕事柄復帰できない方も多くいるので、その方々にも復帰できる環境を作りたいと思います。また京都鴨川道院には海外からの留学生も来ます。語学を学んで、外国語でSNSの発信も行つて、広い世代、多くの国の人と交流できる場にしたいと考えています。



山梨峡東道院(山梨)
矢ヶ崎真美 道院長(道院長交代)

【矢ヶ崎道院長】
—道院長になったきっかけを教えてください。

小4で入門した青少年支部の支部監督をしてくださっていたのが、今継いでいる山梨峡東道院の故駒田裕前道院長です。行事や昇級試験で交流があり、大学卒業後に別の道院に所属してからも、時折、出稽古で顔を出していました。駒田先生から交代をしたいが引き継ぐ人がいないという話を聞いて、道院長になることを決意しました。

—道院長になってから印象的なエピソードはありますか。

女性を増やしたいなと思っていた矢先に女性が5名入ってくれたことです。復帰も含め男女合わせて7名増えました。大変嬉しいことでしたが、その後しばらくの間、駒田先生が道場の後ろで座って見ておられたので、

とても緊張しました。修練で前に立つとき、あそこに座っていたなと今でも駒田先生の影を思いながら修練をしています。あの時、道場の後ろから見ておられた駒田先生の思いつてどんなものなんだろうと今でも考える時があります。

—将来の夢をお聞かせください。

道院は居場所だと考えています。小学生の頃、私は誰よりも早く行つて友達が来るのを待っていました。学校を休むと修練に行けなくなるので、具合が悪くても学校へ行きました。それから、中学、高校、大学、社会人となつても続け、一時期休眠した時もありましたが、どんな時も楽しく過ごせたのは少林寺拳法があったからです。

道院長という役割は私にとつて、恩返しでもあります。まずは今年10人増やして、その後も10人ずつ増やして10年後には100人にしたいと考えています。できればその半数は女性。そう考えるとわくわくします。そして、10年後、100人の門信徒の前で次の道院長の発表をするのが私の夢です。

取材を終えて

年々、道院長の平均年齢が上がっていく中、今回これだけ多くの方が道院長の任命を受けられたことは、金剛禅教団にとって大変面白いニュースです。本山では、参与道院長制度の推進も含め、次世代道院長の育成を図るべく2023年度の施策を展開していきます。今回任命された新たな道院長の門出を祝うとともに、今後のご活躍を祈念いたします。





開祖語録 ダイジェスト

1968年9月
大学合宿

無気力な人間が増えていく。何かちょっと行き詰まると、すぐ負けてしまう。失恋しても、会社がつぶれてもそんなだよ。希望を失っちゃ駄目なんだよ。野良犬でも食うとるんだから、食えるようになってるんだ。ただ食い方の問題だよ。ね。生き甲斐のある、みんなから信頼される生き方を自分がつくろうと、こういうことだ。

今日も来る前に週刊誌見てたら、その中に大学出て就職しない学生の増えることが書いてあった。

情けないんだ。養子にでも行きたい。働く気、なんにもないんだ。希望も夢もなんにもない。そんなぐうたらな奴、どこに養子のもらい手があるか。けれどもそういうことを週刊誌に取材されて、のうのうと言う学生が増えているところに問題がある。

一度つまずいただけで「もうダメだ」となる。よくいえば純情、悪くいえば本当の根性がない。私みたいにな、とことん

死ぬまではあきらめちゃいけない



やってみようという気が欠けるとな。死ぬまでは負けたんではない。死ぬまではあきらめちゃいかんのだ。「自分で生きていると思うな、生かされていると思え」私はそう言われて目が覚めたんだ。生まれたくて生まれたかというたら、そんなことないよな。死にたいと思ってもなかなか死ねない。私みたいに自殺したって死ねなかったやつもおる。自分が勝手に生きたい、勝手に死にたいというのは、やっぱり誤りだと思う。だから、私は再び自殺する気はなかったね。それで若いころは危険な仕事ばかり買って出て、天が私を殺すのを待ったけど、鉄砲の弾がよけてくれたりして助かった。だから自分の命ではないということ、本当に確信を持つとるんだ。生きてること、は、自分の意思に関係ない。そういうふうには理解して、人生を変えてみる。何とかなる人生だと思え。社会に負けるなよ。



金剛禅総本山少林寺
布教課
(写真 浜名湖西道院)

以下は「Slack」への書き込みの一つです。

【かえってきた へんしんトンネル】

単語を連呼するのでノリノリで踊り出す拳士たち。
昇級考試が近いので

「試験を受けるひと、このトンネルを抜けたらどうなっていたい？」と問いかけると「合格〜♪」って元気な声が帰ってきました。(*^O^*) アレンジしやすい絵本でした。

(浜名湖西道院 藤森正和道院長)

「Slack」による交流空間づくり

絵本の読み聞かせを行っている方々の情報交換、相互交流を行いやすくするために、「Slack」という多人数でのコミュニケーションが可能なチャットツールを、10月より活用しています。既に、何人かが参加し、読み聞かせを行った際の子どもの反応や読み聞かせでの工夫等の書き込みを行っています。興味がある方はぜひご参加ください。

なお、「Slack」への参加を希望される方は、下記のアドレスにメールをお送りください。追って参加方法をお伝えいたします。(メールアドレス ehon@shorinjikempo.or.jp)

最近読んだお薦めの絵本

◎かえってきた へんしんトンネル

作・絵：あきやま ただし

出版社：金の星社



ある日、突然、あらわれたふしぎなトンネル。このトンネルをくぐると、なぜか意外なものにへんしんします。園の先生や読みきかせ会の方々にも大好評。大いに笑えることばあそびえほん「へんしんシリーズ」第14弾！



真の勇者たることを期す

【本山教師】馬場辰巳



1970年の秋、弟の知人から「少林寺拳法」を紹介され、玉島羽黒神社の境内に見学に出向いた。その集会所で修練をしていたのは、玉島道院

（故 岡田孝道院長）だった。

当時は、ほとんどが社会人で40名ほどの門信徒が、気迫溢れた基本練習、そして、座禅（鎮魂行）を行っていた。少林寺拳法の技にワクワクしたのはもちろんだが、鎮魂行で唱和された信条の一節、「一、我等は、正義を愛し、人道を重んじ、礼儀を正し、平和を守る真の勇者たることを期す。」の言葉に何故か私は、心を惹かれ、「少林寺拳法を修練すれば『真の勇者』、正義の味方になれるのだ」とその時思った。このように入門を決意したのは「教え」に惹かれた点が大きかった。

早速入門を願い出て、弟と一緒に許された。入門してからは、修練に没頭し、1975年11月少林寺拳法全国大会に、岡山県代表として出場を果たした。

この全国大会への出場が、やればできるという自信となり、結果、先輩から「馬場さん、道院を出したら」と後押しされることになる。

師匠である岡田道院長からも、「是非、道院を開きなさい。応援するから。」と、心強いお言葉

をいただき、翌年、1976年8月笠岡道院設立を申請し、道院長心得として認証を受けた。中拳士三段、24歳であった。

そして、1981年設立5周年記念大会では、その準備に追われ、少林寺拳法第一、仕事第二の生活であった。門信徒の支援と協力のお陰で、成功裡に幕を閉じた。このように、仕事との両立に悩んだ結果、金剛禅の修行、そして布教の道に重点をおき、地元企業に転職した。

その矢先の1982年、危機が訪れた。それは、修練場としていた施設が建替えとなり、使用できなくなることであった。

すると、ある保護者から「良かったら、畑を貸すから道場を建てたら？」とお話をいただき、20坪のプレハブ道場を建設した。その保護者（地主）の方は、「仕事は大丈夫か」「門信徒は減っていないか」と、今でも何かと気にかけてくれる、笠岡道院第一の理解者であり、私の生き方の応援者である。

専有道場が完成してから、新春法会をはじめ全ての儀式、そして宗道臣デー等の行事を執り行ってきた。そして、このプレハブ道場から自信に溢れた多くの子どもたちが「真の勇者」となって巣立っていった。

しかし、この道場も老朽化が目立ち、1996年設立20周年を機に新しい道場の建設を決意し、地主の方からも快諾を得た。そして、笠岡道院関係者の多くの方々に多大なるご支援をいただくとともに、地主の方の思いも籠った自慢の道場が完成した。現在は、この道場を拠点として、地域社会へ向けて貢献できる金剛禅の行事や活動を実施、展開している。

入門から52年が経過し、道院を設立して47年目を迎える。道院運営の根底にあるのは、「少林寺拳法で得たものは、少林寺拳法に返しなさい。弟子を喰いものにしてはいけない。」という開祖の言葉。当たり前のことだが、肝に銘じて実践、そして継続した結果、地元の方々から信頼が得られ、一つの成果として、道場建立に繋がったと思っている。

「真の勇者」とは、善いことをしていても疑われたり、憎まれたり、財を失ったりすることがあるかもしれないけれど、それでも自らが善いと信じたことを大胆に続ける気持ちを持って行動する者のことである。そう私は経験を通じて実感している。

岡山県は、開祖宗道臣師家の生誕地である。そのことに誇りを感じながら、これからもこの道を邁進して行きたい。「真の勇者たることを期す。」



チャレンジ①



「言葉」ってなんだろう。言葉
と人はどのようにかかわって
いる？

しょうねんとくほん
『少年読本』p.29

チャレンジ②



平和な社会をつくるには、ど
んなことが必要だと思います
か。

しょうねんとくほん
『少年読本』p.10

道院長

元気の素



埼玉県・^{ぎょうだみなみ}行田南道院
道院長 ^{むかいもと}向井基樹(53歳)

(兼 埼玉行田道院 参与道院長)

こんな時だからこそ道院長に

災害ボランティアで見た島田政雄道院長の後ろ姿に憧れを持ったことが道院長を目指した最初のきっかけです。次は本山で開催された第一回次世代ネットワーク交流会への参加。大いに刺激を受け、その帰路には「いつか道院長になる」と決意していました。そして具体的に動き出す決め手が新型コロナウイルスの蔓延です。道院活動がままならなくなり、兄弟子である山口博之先生と共に、「こんな時だからこそ道院長と道院の仲間を支えよう！」と思い立ち、二人で参与道院長を目指しました。その根底にはコロナ禍における鬱蒼とした世相への怒りと、「こんな状況でもできることはある。手の届く範囲だけでも自分の力でこの雰囲気を変えるのだ」という使命感がありました。その後2022年1月、埼玉行田道院は兄弟子が代表道院長を引き継ぎ、私は参与道院長になりました。そして、今までの経験を糧として行田南道院を新設するに至りました。

門下生第一号の言葉

行田南道院を設立する際、「向井先生の道院と一緒に修練したい」と言い、門下生第一号となったくれた中学生拳士がいますが、彼女のこの言葉は涙が出るほど嬉しかったです。この門下生とは、彼女が小学1年生のころから埼玉行田道院でずっと一緒に修練してきた仲間です。信じてついてきてくれた彼女のためにも「良い道院にしなければ」という思いでいっぱいです。



道院開設初日

全員が手を取り合う修練

「後輩は先輩の言うことを素直に聞くこと。先輩は後輩のことを考えて行動すること。互いを尊重し思いやりを持ちながら修行すること」を大切にしています。行田南道院では6歳から73歳まで幅広い年齢層の門信徒が在籍しています。年齢に関係なく全員が互いに手を取り合って修練する時間を必ずとるようにしています。技術向上のための効率的な練習も勿論大切ですが、道院は金剛禅運動の拠点です。世代を超えて共に修練し、互いに刺激を与え合いながら汗を流し、人と人とのあり方を学んでいくこと。それを実現できるのが道院の醍醐味ですし、私はそういう場所を

作っていきたいと考えています。

道院長冥利に尽きる瞬間

ふとした折に門下生から「この道院が好きだ!!」という言葉をもらったときが一番です。ある日、入門された拳士から「少林寺拳法の技術は魅力的。しかし、何より行田南道院のみなさんがとても素敵だった。この場所でのみんなの仲間になりたいと思って入門を決意しました」という言葉を聞いた時は、まさに道院長冥利に尽きる瞬間でした。そんな時は、この場所を作れたことを誇りに思い、一緒に作り上げてきた道院の仲間たちのことを思い嬉しくて仕方ありません。今でもこれらの言葉を思い出すとニヤニヤしてしまいます(笑)。

道院長を目指す全国の拳士へ

道院長を目指し、将来をイメージすると、「こんな自分にできるだろうか」と不安になると思います。

でも大丈夫。自分が本気で取り組めば、必ず誰かが協力してくれます。これは具体的に動かなければ実感できないことです。「良いと思えばまずやってみる」これに尽きます。必要なのは自分を変える小さな一歩です。その一歩さえ踏み出せば、必ず「目指してよかった、道院長になってよかった」と思えますよ。



行田南道院

検索

研修会・講習会(地方)

開催報告

● 本山公認教区講習会

開催報告(派遣講師)

〔8月21日〕福岡県教区(鈴木義勝)

〔9月11日〕香川県教区(坂下充)

〔10月16日〕栃木県教区(三柴始)、愛

知県教区(青山昌伸)

〔10月23日〕神奈川県教区(前田保

男)、奈良県教区(川上鐘成)、広島県

教区(井戸家正旺)

〔10月30日〕徳島県教区(高辻吉治)

〔11月3日〕東京都教区(野口雅司)

〔11月6日〕宮城県教区(浜崎哲也)、

山梨県教区(藤井省吾)

〔11月12日〕秋田県教区(海鋒雅之、

湯浅裕一)

〔11月13日〕愛媛県教区(高辻吉治)

〔12月4日〕滋賀県教区(春日部裕樹)

● 教区研修会

〔10月2日〕埼玉県教区、和歌山県教

区

〔10月9日〕三重県教区

〔10月16日〕鳥取県教区

〔10月23日〕茨城県教区、東京都教

区

〔10月30日〕大阪府教区

〔11月13日〕静岡県教区

〔11月27日〕福島県教区、千葉県教

区

〔12月11日〕奈良県教区

● 小教区研修会

〔6月24日〕宮城塩竈小教区

〔7月22日〕宮城塩竈小教区

〔8月26日〕宮城塩竈小教区

〔9月4日〕愛知西三河第二小教区

〔9月25日〕東京第一小教区

〔9月28日〕山形置賜小教区

〔9月30日〕宮城仙台小教区、塩竈小

教区合同

〔10月1日〕東京第九小教区、第十一

小教区合同

〔10月2日〕青森南部小教区

〔10月9日〕横浜第四小教区

〔10月15日〕東京第十七小教区

〔10月16日〕香川中讃小教区、神奈川

西湘小教区、東京第七小教区、愛媛

南予小教区

〔10月17日〕長崎島原小教区

〔10月23日〕愛知西三河第一小教区

〔10月26日〕東京第五小教区

〔10月28日〕宮城仙台小教区、塩竈小

教区合同

〔11月6日〕香川中讃小教区

〔11月12日〕東京第四小教区

〔11月13日〕愛知西三河第二小教区

〔11月27日〕静岡西部第二小教区、奈

良宇陀小教区

〔12月2日〕奈良宇陀小教区

〔12月4日〕栃木南部小教区、静岡富

士小教区

〔12月11日〕静岡東部小教区

〔12月25日〕青森小教区、兵庫丹有小

教区

〔1月7日〕石川能登小教区

〔1月8日〕横浜第四小教区

〔1月12日〕青森小教区

● その他

〔7月3日〕那珂川道院設立50周年、

福岡早良西道院設立30周年記念行事

〔9月25日〕2022年度静岡県教区

第6回金剛禅易筋行大会

〔10月9日〕第1回奈良県金剛禅大会

〔10月23日〕第3回山口西小教区金剛

禅大会

〔11月6日〕2022年岡山県教区

金剛禅易筋行大会

〔11月27日〕奈良信貴道院演武発表会

〔12月11日〕秋少林寺拳法記念祭、萩

INFORMATION

道院認証

認証おめでとうございます

● 認証

■ 2023年1月1日付
行田南道院 向井 基樹

● 交代

■ 2023年1月1日付
埼玉行田道院 山口 博之
千葉宮野木道院 平松 智方

● 参与道院長

■ 2022年12月1日付
入間藤沢道院 松井 章
亀有道院 秋元 康幸
札幌あかしや道院 小清水 住男
水戸葵道院 関谷 朋律

水戸葵道院
水海道道院
水海道道院
伊勢原道院
各務原東道院
宇部維新道院

近藤 雅彦
緒方 教泰
赤穂 由美
杉崎 恵悟
畑中 元
伊藤 雅浩

法階昇格者

昇格おめでとうございます

正範士

■ 2022年12月18日付
川脇 芳久(大阪鶴浜道院)

准範士

■ 2022年9月19日付
斎藤 邦夫(東京石神井道院)
山口 仁(小田原道院)
高橋 敏一(福井西道院)
清野 宏海(舞鶴道院)
高濱 公大(西陣北道院)

永江 健将(京都修学院道院)
川添 浩史(大阪平野道院)
庄坪 俊明(兵庫市川道院)
浦林 涉(加古川神野道院)
新田 福音(淡路中部道院)
是常 健太郎(西脇南道院)

■ 2022年12月4日付
小原 巧久(盛岡北道院)
鈴木 直子(仙山西道院)
寺山 欣一(大宮道院)

平林 純一(東京千代田道院)
川越 拓実(大森道院)
河原井 敦(東京大久保道院)
鶴見 大輔(横浜根岸道院)
鈴木 英仁(信州宮田道院)

■ 2022年12月18日付
山崎 勝朗(三軒茶屋道院)
平林 実(亀有道院)
畑中 武弘(三軒茶屋道院)
杉下 久夫(伊豆菰山道院)

北野 裕士(大阪高槻道院)
渡辺 昭彦(西宮今津道院)
安田 勇哲(津山道院)
藤井 郁英(上宇部道院)
森 秀司
(神戸向洋スポーツクラブ)

僧階昇任者

昇任おめでとうございます

少法師

■ 2022年12月3日付
林 昌幸(埼玉早瀬道院)

大導師

■ 2022年12月3日付
向井 基樹(行田南道院)

中導師

■ 2022年12月1日付
田中 海雄(横浜片倉道院)
小池 紗知子(横浜片倉道院)
赤井 三省(大阪摂津峡道院)

■ 2022年12月3日付
舘 光彦(八戸東道院)
関 緑(太田西道院)
菅原 卓雄(市川道院)
チモシェンコ ナターリア
(東京大塚道院)

佐久間 信夫(東京昭島道院)
佐伯 由美子(東京昭島道院)
尾崎 昭弘(相模原南道院)
市橋 康彦(横浜緑園道院)

■ 2023年1月1日付
加藤 剛晴(多摩豊田道院)
大谷 友崇(横浜片倉道院)
武衛 篤(静岡城北道院)

権中導師

■ 2022年12月1日付
浅野 滋春(仙台宮城野道院)
横山 和広(長井ひなた村道院)
大谷部 克博(長井ひなた村道院)
遠田 由美子(鶴岡中部道院)
中村 優子(渡良瀬道院)
高井 寛(埼玉白岡道院)
渡邊 寛(埼玉下戸田道院)
齋藤 正継(東京築地道院)
永井 仁(町田南道院)

清水 直樹（横浜慈眼寺道院）
石川 悠太（秦野道院）
石井 知泰（金沢文庫道院）
唐澤 直樹（柏崎道院）
堀井 直宏（あわら東道院）
長嶋 克哉（浜松中央道院）
藤田 豊（三方ヶ原道院）
橋本 秀隆（浜松渡瀬道院）
三村 音温（浜松渡瀬道院）
加藤 功二（愛知吉良道院）
加藤 亜希子（愛知吉良道院）
山井 誠也（大阪高槻道院）
杉田 裕彦（大阪千船道院）
柴田 寛丈（伊丹西道院）
中山 祐子（神戸甲南道院）
和田 勝己（加古川米田道院）
深澤 直樹（大和桜井安部道院）
藤井 孝清（大和郡山南道院）
村松 重明（紀州新南道院）
吉井 孝（紀州本町道院）
八杉 章（笠岡道院）
国定 勝政（笠岡道院）
尾中 泰（福岡中央道院）
藤田 久代（大分府内道院）

少導師

■2022年12月1日付

小関 智博（札幌屯田道院）
長谷 宣（札幌円山道院）
枝元 直正（札幌円山道院）
笹木 美南（札幌円山道院）
上堀 晏奈（富良野光明寺道院）
壽浅 瑠称（富良野光明寺道院）
荏原 碧（富良野光明寺道院）
東 蓮翔（富良野光明寺道院）
福山 莉玖（仙台東道院）
佐藤 広和（酒田中部道院）
時任 静士（山形いづみ道院）
橋本 健人（山形いづみ道院）
小野瀬 勝久（水戸葵道院）
木村 千紆（水海道道院）
市川 裕一（栃木鹿沼道院）
和田 敏彦（那須大田原道院）
辻野 真一（那須大田原道院）
小倉 優一郎（埼玉下戸田道院）
宮内 駿（埼玉下戸田道院）
四宮 章光（西船橋道院）
西田 一貴（松戸上本郷道院）
秋葉 裕幸（西船橋道院）
湯野川 健市（東京石神井道院）
平野 晃平（東京大崎道院）
立和名 ルイ（川崎西道院）
アタルカ ベルカン（相模原南道院）

中村 充利（海老名東道院）
高橋 与志彦（栃尾道院）
中道 信夫（能登七尾道院）
織平 和真（能登七尾道院）
白池 忠幸（能登七尾道院）
平山 千香子（能登七尾道院）
鈴木 皓大（箕輪中部道院）
岡島 徹弥（信州中川道院）
森上 裕真（三方ヶ原道院）
渡部 謙二（浜松渡瀬道院）
鈴木 友見（浜松渡瀬道院）
神田 航太郎（半田道院）
和井田 彰（愛知蟹江道院）
山本 典弘（岡崎滝道院）
江藤 心美（愛知今伊勢道院）
三上 忍（愛知吉良道院）
三上 らむ（愛知吉良道院）
星 泉（愛知田原道院）
前出 恵美（三重津城北道院）
竹内 颯（滋賀草津道院）
八木 栄穂（洛南道院）
内山 智恵（大阪港道院）
内山 たけし（大阪港道院）
北村 壽朗（大阪港道院）
中村 和宏（大阪港道院）
森田 有亮（大阪津田道院）
大原 健正（大阪白鷺道院）
平瀬 昭夫（大阪白鷺道院）
東澤 華名（大阪白鷺道院）

糸井 大智（泉南西信達道院）
本村 喜洋（大阪千船道院）
内山 洋之（尼崎潮江道院）
三角 啓人（尼崎潮江道院）
菖蒲 勝雄（西宮西道院）
中 篤徳（西宮津門道院）
林 哲也（大久保山手道院）
篠田 光希（金剛山道院）
松井 真希子（奈良尼ヶ辻道院）
畑 地平（和歌山東道院）
石田 浩二（笠岡道院）
佐藤 大祐（広島南道院）
宮脇 翔一（小野田道院）
有田 胡桃（本部道院）
草薙 勝則（本部道院）
村山 隆（綾歌道院）
倉本 昂（琴弾道院）
倉本 結衣（櫛梨道院）
合田 明子（松山武南道院）
吉本 静佳（高知野市道院）
辰田 英正（筑前古賀道院）
川本 達也（筑前古賀道院）
富田 博文（筑前古賀道院）
柴田 史佳（福岡中央道院）
柳田 泉（福岡早良西道院）
本山 敏彦（佐世保早岐道院）
中山 宗紀（熊本健軍道院）
浅尾 知子（宮崎日南道院）

お布施

心より感謝申しあげます

勤続表彰50年

▷札幌手稲道院 佐藤 孝利 50,000円

勤続表彰35年

▷入間藤沢道院 森本 俊美 10,000円

京都明珠道院設立5周年

▷京都明珠道院 三井 純一 10,000円

その他

▷豊田末野原道院 服部 俊美 10,000円
▷クロフネカンパニーご縁紡ぎ大学香川校 10,000円

公認講習会

▷宮城県教区 30,000円
▷秋田県教区 30,000円
▷東京都教区 30,000円

▷山梨県教区 30,000円
▷滋賀県教区 30,000円
▷奈良県教区 30,000円
▷広島県教区 30,000円
▷香川県教区 30,000円
▷愛媛県教区 30,000円

新春行事

北海道教区 白戸 淳一、茨城県教区、神奈川
県教区 飯田 昌一、岐阜県教区、静岡県教
区、愛知県教区 林 正義、三重県教区、奈良
県教区 奥田 眞弓、徳島県教区、香川県教
区、札幌あかしや道院 阿達 美恵子、茨城取
手道院 石渡 静夫、津田沼道院、報徳桜井道
院 柏井 伸一、横浜片倉道院 三枝 勝巳、神
奈川嶽之内道院 小磯 信一、富山南道院 木戸
薫、高岡古城道院 前野 美則、富士南道院 杉
山 英利、梅津道院、明石道院 今井 明雄、川
西中部道院 丸野 俊一、播磨南道院 吉野 雅
文、奈良信貴道院 川口 宗勇、

奈良大安寺道院 森本 勝也、木津道院 竹澤
光広、大和桜井安部道院 迎田 展孝、大和郡
山南道院 河原 章二、奈良宝来道院、岡山
中央道院 尾崎 次徳、水島中部道院 田中 正
則、防府東道院 池田 繁勝、本部道院、高松
木太道院 鎌田 智、熊本荒尾道院 宮崎 司、
今城 隆廣、山崎 博通、新井 庸弘、石井 宏
明、藤本 義政、牧野 清、中村 袈裟巳、牧
野 明美、本部道院OB 山崎 高雄、NPO法人
The Universe 河内 大一郎、NPO法人 The
Universe 河内 光、東洋防蝕工業有限会社 久
山 峻史、

東洋防蝕工業有限会社 久山 峰年、株式会社
香川銀行 山田 徑男、有限会社光風社広告 岡
田 之彦、今治造船株式会社 黒川 節弘、株式
会社 サンエイ 松岡 征機、株式会社 合田工
務店 森田 紘一、有限会社西山印刷所 西山
照彦、四国旅客鉄道株式会社 泉 雅文、株式
会社前川商店 前川 香、四国計測工業株式会
社 丹 淳、大一電気工業株式会社 長瀬 裕亮、
株式会社一鶴 有木 隆、株式会社中央印刷、
有限会社 買田屋

訃報

謹んでご冥福をお祈り申しあげます

しまぎさ あきひさ
島崎 彰久
くぼ しんや
久保 信哉
はせがわ あきら
長谷川 明
くわはら ひろゆき
栗原 博之

渋谷笹塚道院元道院長、第208期生、大導師正範士七段、2022年12月11日逝去、満75歳

奈良西の京道院/二上山道院道院長、第400期生、大導師正範士七段、2022年12月18日逝去、満67歳

南国福井道院元道院長、第216期生、中導師准範士七段、2023年1月7日逝去、満75歳

大阪城東道院、第182期生、大導師正範士七段、2023年1月11日逝去、満76歳

宗門の行

これまでの科目表が改訂となり、いよいよ4月1日より「修行科目表」の運用が始まります。修行科目表では、新たに「連続複数法形修練」の項目が追加されています。改めて、連続複数法形修練とは何かを見ていきます。また、今号より裏表紙の技法および動画については、修行科目表に掲載の連続複数法形修練を紹介していきます。

本稿で掲載の連続複数法形修練を下記のQRコードより動画でご覧いただくことができます。動画をご覧いただくよりイメージがつかみやすくなりますので、ぜひご覧ください。

ショート Ver.
(攻守交代なし、片方のみ)

ロング Ver.
(攻守交代あり、左右)



連続複数法形修練

連続複数法形修練とは、2つ以上の法形を連続して行い、攻守交代して左右行う修練法のことです。これまで本山の講習会や本山職員の修練において継続的に行われてきたものです。この修練法のメリットとして、一定時間(たとえば5分間)、途中で私語や指導を挟むことなく、ひたすら法形を行うことにより、繰り返し数をかけることができます。また、拳系や関連する法形をセットで行うことにより、それぞれの法形の共通点や違いを理解しながら修練を行うことができるようになります。動きの中で起こる微細な変化を掴みやすくなり、文字通り体で覚えることが可能になります。

数をかけられない現状

このような修練が必要となった背景には、数をかけて修練が行われなくなっているという現状があります。その理由として、修練できる時間や日数が限られている、法形の手順が覚えられない、一つの法形を始めから終わりまで通して行う練習よりも部分練習が多いなど、要因はいくつか考えられます。また、準備運動や基本修練では十分に体を動かすけれども、法形の修練になると、手順の確認や法形のそれぞれの局面におけるコツの確認に終始し、法形をトータルで繰り返すことに時間をかけないため、体を動かさなくなるといった状況があるのではないかと考えられます。

修練法の二つと二つ

これらの状況を改善するものとして、連続複数法形修練は有効な手段になります。複数の法形を続けて行う、また一連の流れの中で行うことで、頭よりも体を動かさざるを得ない状況が生まれます。一つの法形が終わると、続けて攻者が次の攻撃をしてくるため、「この法形のポイントは何か」「このようにかけてやろう」と考える余裕がなくなります。理屈を考えたり、記憶力を頼りに動くことは、この場合返って邪魔になります。

この傾向は、一通り攻守交代、左右行った後に、相手を変えて行うとさらに顕著になります。それは、技法が成立するには、理を知るだけではなく、組んだ相手それぞれの動きに合わせて使う必要があるからです。動きを止めて形を確認することも大事ですが、形を

DISCUSSION

さらに考察を深めるため

- 本誌裏表紙に掲載の科目、または修行科目表に掲載の連続複数法形修練を、動画を参考に5分間行ってみましょう。
- それぞれの法形のポイントを連続複数法形修練の中でも意識したり、動きの中で表現したりすることができていますか。
- 一つの法形を5分間繰り返す場合と、3つの法形を連続複数法形修練で5分間繰り返す場合に起こる感覚の違いにはどのようなものがありますか。

確認したら、最後は動きの中でその形が再現できるようにしていく必要があります。今回、連続複数法形修練について「数をかけること」を中心に展開しましたが、決してこれがベストな修練法というわけではありません。しかし、前述した通り、数をかけて修練が行われなくなるといった現状があり、これを克服するためには、この修練法が今必要であると考えます。基本修練、法形修練に続く、運用法や演武の修練の橋渡しにもなりうる修練法ですので、ぜひ日々の修練に取り入れていくといいと思います。(富田雅志)



宗門の行としての少林寺拳法

一連の流れの中で数进行ける

技法が成立するには、理を知るだけではなく、組んだ相手それぞれの動きに合わせて使う必要がある。一つの法形を、始めから終わりまで、一連の流れの中で数をかけて行うことが体で覚えることにつながる。

→詳細は11ページ「宗門の行」へ

【連続複数法形修練】

上受突(裏) → 上受蹴(表) → 上受蹴(裏)



ショート Ver.
(攻守交代なし、片方のみ)



ロング Ver.
(攻守交代あり、左右)



文／富田雅志 演武者／富田雅志 大拳士六段、内藤大将 大拳士五段



SHORINJI KEMPO
少林寺拳法



金剛禅総本山少林寺のSNSも、ぜひご覧ください。